

土曜・休日の日暮里・舎人ライナー終列車の繰り下げに関する要望

竹ノ塚の鉄道立体化でお世話になっている半沢です。

最近、日暮里・舎人ライナーのダイヤについて、気がついたことがあります。

それは「土休日ダイヤでの日暮里発の終電時刻が早すぎる」、より具体的には「新幹線の最終列車で帰ってきたのでは終電に間に合わない」と言うことです。

現行ダイヤにおける終電の日暮里駅発時刻は、平日が0:38発、土休日が0:00発です。

一方、各新幹線の最終列車を利用した場合の日暮里駅への着時刻は、以下のとおりです。

1. 東海道・山陽新幹線から
東京着23:45(のぞみ64号) 東京発23:56(京浜東北線) 日暮里着0:07
2. 東北新幹線から
上野着23:38(やまびこ70号) 上野発23:50(京浜東北線) 日暮里着23:54
3. 上越新幹線から
上野着23:34(Maxとき352号) 上野発23:50(京浜東北線) 日暮里着23:54
4. 長野新幹線から
上野着23:22(あさま554号) 上野発23:40(山手線) 日暮里着23:43

以上からわかるように、平日ダイヤでは何の問題もありませんが、土休日だと、1の「のぞみ64号」では完全にアウトです。

2の「やまびこ70号」も、上野駅地下の新幹線ホームから地上へのエスカレーターの混み具合によっては、京浜東北線電車に乗り遅れる可能性があります。

車いすの人だと、業務用エレベーターへ迂回する必要があるため、確実にアウトでしょう。

3と4の上越・長野新幹線なら土休日でも何とか間に合いそうですが、これは新幹線それ自体の終列車の時刻が早いからに過ぎません。

日暮里・舎人ライナーが開業した当時のダイヤでは、朝の始発電車が遅すぎて、東京駅6:00発の東海道・山陽新幹線の始発「のぞみ1号」に間に合わないという問題がありました。

目的地が大阪など新幹線沿線であれば、後続の「のぞみ3号」でも問題ないのですが、目的地が四国など新幹線から更に乗り継ぐ必要がある場合には、接続が悪くなり所要時間が大幅に延びてしまうという問題があったわけです。

ただ、その後のダイヤ改正で始発が繰り上げられたことにより、日暮里・舎人ライナーの沿線からでも「のぞみ1号」に乗れるようになりました。

ならば、終列車も「のぞみ64号」から接続するダイヤとするよう、東京都交通局に働きかける必要があるのではないかと思うわけです。

日暮里駅での乗り換えに必要な時間を何分見込むかによりますが、車いすの人が日暮里着0:07の京浜東北線電車から乗り換えるとした場合、0:15発くらいにする必要があると思われま

す。

以上、ご検討いただければ幸いです。